

第377回
定期演奏会

TOKYO CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



避けられぬ運命を劇的に鳴らす――
コロナ禍を経て挑む鎮魂のリベンジ

指揮 高関 健

(常任指揮者)

Ken Takaseki, Principal Conductor

ヴェルディ

レクイエム

G.Verdi: Messa da Requiem

© K.Miura



© Ayane Shindo

ソプラノ 中江 早希
Saki Nakae, Soprano



メゾ・ソプラノ 加納 悦子
Etsuko Kanoh, Mezzo Soprano



© Takafumi Ueno

テノール 笛田 博昭
Hiroaki Fueda, Tenor



バリトン 青山 貴
Takashi Aoyama, Baritone

2025

3/8

土 14:00開演(13:15開場)

■13:40より高関健によるプレトーク

合唱 東京シティ・フィル・コア 〈合唱指揮 藤丸 崇浩〉
TCPO Chor, Chorus 〈Takahiro Fujimaru, Chorusmaster〉

東京オペラシティ コンサートホール

チケット料金(全席指定・消費税込)

S席 ¥6,000 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 C席 ¥3,000

割引チケット

U20(小学生~20歳・座席指定不可) ¥1,000 U30(21歳~30歳・座席指定不可) ¥2,000

プラチナS席 ¥4,500 プラチナA席 ¥3,500(60歳以上) 江東区民割引(S席~C席)各 ¥200割引

※プラチナ、江東区民割引は東京シティ・フィルとティアラこうどうのみでお取り扱い。U20、U30は東京シティ・フィルのみでお取り扱い。
※ハンディキャップ割引もご用意しておりますので、ご希望のお客様はお問い合わせください。

チケットのお申込み 東京シティ・フィル チケットサービス 03-5624-4002 (平日の月・水・金 11:00~16:00) オンライン予約 <https://www.cityphil.jp/>

主催:一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人アフィニス文化財団/公益財団法人朝日新聞文化財団

©東京シティ・フィルは、1994年から東京シティ・バレエ団と共に東京都江東区と芸術提携を結び、公益財団法人江東区文化コミュニティ財団の協力を得て活動を行っています。
「音楽の輪を広げよう!」。東京シティ・フィルは地域のみなさんと一緒に活動します。



華麗なサウンドと美旋律に溢れた迫真のドラマ
シーズン最後の集大成的名演が魂を震わせる

今シーズンの最後を飾るのは、ヴェルディの傑作「レクイエム」。近年、マーラーの交響曲第9番、ショスタコーヴィチの「レニングラード」交響曲等の記念碑的名演を残している当コンビのシーズン最後の定期に、まさしく相応しい演目だ。

本作は、イタリア・オペラ最大の巨匠が作曲技法の粋を結集した、同分野の最高位に位置する名曲。形こそ宗教曲だが、ドラマティックでメロディアスな音楽は、オペラ&ヴェルディの極上のエッセンスとなっている。中でも「怒りの日」の激烈な音楽はテレビ等で広くお馴染み。声楽と管弦楽双方の醍醐味を満載したこの曲は、生演奏を体験する感動も比類ない。

しかもこれは、21年3月にコロナ禍で上演を断念した演目であり、今回は強力ソリスト陣と合唱を含む出演者全員が当初と同じ顔ぶれ。すなわち「今度こそ上演を！」という一同の熱い思いや意欲が詰まった公演でもある。ならば経緯も曲想も同様だった23年11月「トスカ」の鮮烈かつ迫真のドラマが脳裏に甦る。

高関とのコンビ10シーズン目を締めくくり、顕著な進化の(現時点の)集大成が示される本公演を、聴き逃してはならない。

柴田 克彦 (音楽評論家)



高関 健 ◆指揮(常任指揮者)
Ken Takaseki, Conductor (Principal Conductor)

東京シティ・フィル常任指揮者として11年目のシーズンを迎え、仙台フィル常任指揮者、富士山静岡響首席指揮者も務める緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作りだす名匠。世界的ソリストや作曲家、新国立劇場をはじめとするオペラ公演でも絶大な信頼を得、サンクトペテルブルグ・フィルなど海外への客演も多い。第50回サントリー音楽賞等を受賞。X (旧Twitter) @KenTakaseki



中江 早希 ◆ソプラノ Saki Nakae, Soprano

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業。東京藝術大学大学院修士課程音楽研究科声楽専攻独唱科、同大学院博士後期課程を修了。バロック音楽から現代音楽まで幅広いレパートリーを持ち、オペラや宗教音楽のソリストだけではなくドラマやゲーム音楽などのヴォーカルとしても活動する。北海道小川郡鷹栖町ふるさと応援大使。洗足学園音楽大学非常勤講師。



加納 悦子 ◆メゾ・ソプラノ Etsuko Kanoh, Mezzo Soprano

ケルン市立歌劇場、シュトゥットガルト州立歌劇場をはじめ国内外のオペラで活躍。二期会『トリスタンとイゾルデ』、新国立劇場『ジュリオ・チェーザレ』等で高評を得、高い技術に裏打ちされた歌唱はオーケストラからの信頼も厚い。CD『メアリ・スチュアート女王の詩/シューマン後期歌曲集』でレコード・アカデミー賞部門賞受賞。2019年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。二期会会員



笛田 博昭 ◆テノール Hiroaki Fueda, Tenor

名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学院修了。第37回イタリア声楽コンクール・イタリア大使杯受賞。第50回日伊声楽コンクール第1位。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。イタリアの輝きをもつ声と歌唱フォームは他に比類ない。2023年パレルモ・マッシモ歌劇場の引越公演に、急遽代役として『ラ・ボエーム』のロドルフォで出演し大喝采を浴びた。藤原歌劇団団員。



青山 貴 ◆バリトン Takashi Aoyama, Baritone

東京藝術大学大学院、新国立劇場オペラ研修所を経て渡伊。二期会『ナブッコ』表題役、新国立劇場『トスカ』スカルピア、日生劇場『セビリアの理髪師』フィガロ、びわ湖ホール『ニーベルングの指環』ウオータン等で高評を得、コンサートでも数多くの公演で好評を博している。第19回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞、第4回マグダ・オリヴェーロ国際コンクールファイナリスト。二期会会員

東京シティ・フィル・コア ◆合唱 TCPO Chor, Chorus

2001年1月当時、常任指揮者であった飯守泰次郎の発意により、当楽団の専属合唱団として旗揚げされた。指揮者・オーケストラと音楽的に密接な関係を保つことで、アマチュアながらもクオリティの高い音楽を聴衆に届けるべく活動を展開している。近年は他団体の演奏会へも出演を重ね、今後ますますの飛躍と発展に大きな期待が寄せられている。

チケットのお申込み

東京シティ・フィル チケットサービス
03-5624-4002
(月・水・金 11:00~16:00 ※祝日を除く)
オンライン予約 <https://www.cityphil.jp/>



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 277-684)
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/sys/main.jsp>
東京オペラシティ チケットセンター 03-5353-9999
ティアラこうとう チケットサービス 03-5624-3333

※プラチナ、江東区民割引は東京シティ・フィルとティアラこうとうのみでお取り扱い。U20、U30は東京シティ・フィルのみでお取り扱い。

チケット発売日

会員先行発売 2024年8月28日(水) 一般発売 2024年9月11日(水)

会場アクセス

東京オペラシティ コンサートホール

【〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2 TEL.03-5353-0788】

- 京王新線(都営地下鉄新宿線相互乗入れ) 初台駅東口・・・徒歩5分以内
- 小田急線 参宮橋駅・・・徒歩約14分
- 都営地下鉄大江戸線 西新宿五丁目駅A2出口・・・徒歩約17分
- 渋谷駅西口よりバス・・・約20分
京王バス(渋64): 東京オペラシティ南または東京オペラシティ下車
京王バス(渋63)〈渋66〉/都営バス(渋66): 東京オペラシティ南下車
- お車・・・山手通り・甲州街道交差点角



※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。
※一度お求めになられたチケットは公演中止の場合以外、一切キャンセルはできませんので、ご了承ください。
なお、チケットの再発行もいたしませんのでご注意ください。

次回の定期演奏会【第378回定期演奏会】

指揮: 高関 健(常任指揮者) ヴァイオリン: 大谷 康子

ショスタコーヴィチ: バレエ組曲「ボルト」より抜粋 メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン 作品20 ストラヴィンスキー: バレエ音楽「春の祭典」

2025 4.5 土 午後2時開演
東京オペラシティ コンサートホール